

一中地区まちづくり市民会議第2分科会（第2回）

会議結果要点記録

- 1 開催日時 平成25年2月28日（木）午後6時～午後7時40分
- 2 開催場所 1中地区コミュニティセンター集会室1
- 3 出席者 事務局を含め14名

4 会議結果概要

（1）青少年非行防止・防犯パトロール現況調査結果について

先に実施した標記みだしの件について、別添資料により、事務局から説明。

19団体 延670人がパトロール活動を行っている。

調査結果について、各委員より意見を求めた。主な意見は次のとおり

- ① これほどの人がパトロールをやっているとは思わない住民が多いのではないかと。
- ② これらの実績を地域住民に知らせることが必要。知らせることにより、小中学生の子どもを持つ父母など若い人もパトロール活動に参加していただけることが理想。
- ③ パトロール人員が少ない団体も見受けられる。自治会などでもっと人数を増やすことにより、自分たちの地域が、自分たちで守るという意識が深まるのではないかと。
- ④ パトロールにより、空巢などの犯罪件数が減少している。犯罪の抑止力に効果があがっていると思う。
- ⑤ 日頃のパトロール活動に感謝。教師の立場としては、生徒一人ひとりが「加害者をつくらない」、「事故を起こさない」ことを常に念じている。自転車の正しい乗り方ひとつをとっても、気がついたら生徒に指導してほしい。
- ⑥ 犯罪の抑止力をより高めるためには、犯罪等の情報をいち早く繋げていくことが重要。
- ⑦ ジャンパーなどの装備品がないと、生徒、児童に対して注意しにくい。
- ⑧ パトロールマニュアルがあるとよい。

（2）現況調査結果を踏まえたネットワーク強化のあり方について

上記（1）の⑥などの意見を踏まえ、本分科会の委員及び調査に協力をいただいた19団体にFAX等により、犯罪等の情報を一斉発信する仕組みをつくることを、事務局から提案。全会一致で承認した。

（3）その他

第3回会議は、情報ネットワーク整備後、開催することです承。